

# ブレイクタイムズ

vol.32

5月27日の第32回家族会にて「摂食・嚥下について」の題目で発表をさせていただきました。摂食・嚥下という難しい印象となりますが、その内容は食べる、飲む事つまりは食事について話しをさせていただきました。食事の際に私たちは目で見る事や匂いで認知し、その食べ物にあった道具を使用し口の中に入れ、噛みながら舌で唾液と混ぜ合わせて食塊を作り、咽頭に送り、飲み込んでいます。その一連の動作をスライドで説明したり、実際にかっぱえびせんやヨーグルトを食べてもらい自分がどのように食べているかをゆっくり感じながら体験していただきました。その後は摂食・嚥下障害で起こる誤嚥性肺炎とその予防法についての説明を行いました。発表後には入院している患者様から「薬を飲む時にむせる。それがとても大変、どうしたらいいのか」と質問をいただき、考えられる理由と対処法の説明をさせていただきました。毎日行っている動作であり、動きが見えない部分であるからこそその不安や苦痛があるのだなと改めて感じました。今回の発表を通じて、私たちが日常普通に行っている食事という行為について少しでも深く考えていただける機会になったとしたら嬉しいと思います。

文責 坂井隆一

